50th Annibersary
東京城東ロータリークラブ週報
国際ロータリー第2580地区

2016.　6.　20　　第2347回例会

すべてを感謝し、新たな50年へ

東京城東ロータリークラブ会長　会田　博

例会日　毎週月曜日　12:30 ～ 13:30
例会場　〒 130-0013　墨田区錦糸1-2-2　TEL 5611-5511
東武ホテルレバント東京
事務局　〒 130-0013　墨田区錦糸1-1-5
TEL 5637-4605　FAX 5637-4611
事務局　天尾　文（伊藤）
E-mail　jyoto@club.email.ne.jp

会　長	会田　博	副会長	細谷貞治
幹　事	篠田秀樹	副幹事	兒玉正行
		会報委員長	須田雅之

ＲＩ会長
K.R. ラビンドラン
第2580地区ガバナー
鈴木　喬
第2580地区幹事
坂田修一
ガバナー補佐：羽鳥貞雄
(東分区担当)
東分区幹事　：中川　剛
東分区副幹事：加藤和正

世界へのプレゼントになろう

本日の卓話

「日本ロータリー１００年と
東京五輪レガシー」

第2580地区パストガバナー
水野正人氏

2016/6/13（月）
「浅草隠居おやじの下町への思い入れ」
浅草大黒屋 社長
丸山眞司氏

ニコニコボックス

◎卓話者の丸山眞司様より、卓話御礼をニコニコに頂戴しました。
○丸山様、本日の卓話よろしくお願い致します。
会田　博君・篠田秀樹君・細谷貞治君
渡辺孝至君・池永憲明君・山田　昇君
山﨑富士夫君・伊藤国雄君
○丸山様、息子がいつもお世話になっています。
佐野一信君
○久し振りです。　津覇好延君
○お祝いを頂いて。　大塚伸也君

小計￥68,000.-　累計￥3,045,000.-

2016年6月13日 例会報告

点　鐘
ロータリーソング　『手に手つないで』
ゲストスピーカー　1名
ゲスト及びビジター　1名
会員出席状況　49名中37名(出席率75.51%)
前々回訂正出席率　100%

- 6月の受付当番 -
重田君/杉田君/須田君/田島君/中田君

次回の卓話

「一年を顧みて」

会田　博　会長
篠田秀樹　幹事

内容充実の為に、皆様からの投稿をお待ちしております！

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

ＲＩニュース：2016. 6. 1

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

ロータリー会長 母の思い出とポリオについて語る

韓国で 6 月 1 日（水）に開催されたロータリー国際大会の最終日、K.R. ラビンドラン国際ロータリー会長が、30 歳でポリオに感染した自身の母親について、KINTEX 会議場（韓国、高陽市）を埋め尽くした聴衆に語りました。

母親がポリオに感染したのは、ラビンドラン会長が 11 歳だったときのこと。母国スリランカで、ある朝に目覚めた母親は、体のだるさと息切れを感じました。座ろうとすると、足が動かないことに気づきました。ポリオウイルスがあっという間に神経系を侵し、足がまひしていたのです。

すぐさま入院し、呼吸をするために「鉄の肺」に入れられました。医者からは、もう二度と歩くことも、人口呼吸器なしに生きることもできないかもしれないと告げられました。しかし、1963 年当時のスリランカには、人口呼吸器を備えている病院はありませんでした。

母親が入院した日の晩、ロータリー会員だった祖父は、自宅の居間でクラブ委員会の会合を開きました。仲間の会員たちは、ただなぐさめる代わりに、仕事の知識や人脈を生かして、人口呼吸器を確保するためにすぐさま行動を起こしました。銀行マネージャーだった会員は、政府の高官に電話をして、すぐに海外に送金できるよう計らいました。スイス航空のマネジャーだったもう一人の会員は、人口呼吸器を輸送する手はずを整えました。こうして、翌日には人口呼吸器が病院に届いたのです。

「当時のスリランカでは何もかもお役所主義でしたが、ロータリアンたちはこれを取り払ったのです」と、会長は振り返ります。母親の入院生活は 1 年半続きましたが、徐々に回復し、退院時には歩行器を使って自身の足で歩くことができました。

「53 年前、おそらくロータリアンによってポリオから命を救われた最初の一人が、私の母だったのでしょう。以来、私たちは何百万という人の命を救ってきました」

とラビンドラン会長。

「今晩、母の息子として、そしてロータリーの会長として、皆さまの前に立ち、ロータリーが " ポリオのない世界 " という永遠のプレゼントを贈る日が近づいていること、しかもそれは、数年先ではなく、数カ月先かもしれないということを申し上げます」

前日の本会議では、米国疾病対策センターのレベッカ・マーティン氏も「ポリオ撲滅が非常に近づいている」と述べました。この本会議の前には、ロータリーが 3500 万ドルの追加補助金をポリオ撲滅活動に投入しました。

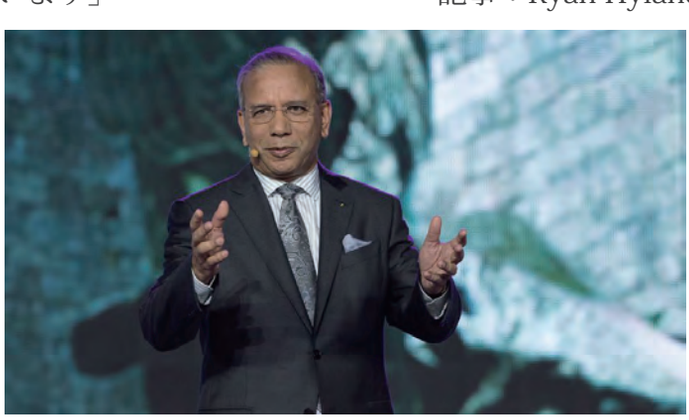
ロータリー史上最高となる 43,000 人の出席者を記録した今国際大会では、150 カ国以上から人びとが集まりました。ラビンドラン会長は、会長として最後のスピーチで、ロータリアンであることの真の意味は何なのかを強調しました。

「この地球上には、皆さんの懸命な努力のおかげで、より良い人生を送れるようになった人が大勢います。その人たちが私たちの存在に気づいていなくても、私たちの名前さえ知らなくても、それは問題ではありません。大切なのは、皆さんの活動が人びとの人生に触れ、それによって人びとがより健康で幸せになったことです」

次年度に目を向ける

ラビンドラン会長のスピーチに続き、会長の所属クラブであるコロンボ・ロータリークラブの会員と、ジョン・ジャーム RI 会長エレクトの所属クラブであるチャタヌーガ・ロータリークラブ（米国テネシー州）の会員が壇上に上がりバナー交換を行いました。これは、会長の交代を非公式に象徴する伝統です。

バナー交換の後、ジャーム会長エレクトは「ロータリー史上、最も進歩的な年度が始まろうとしている」と述べ、次のように続けました。

「もっと若い世代、最近退職した人、現役の職業人にとってロータリーの活動がもっと魅力的となるよう、変化し、柔軟になることの必要性を、皆さんは訴えてきました。今年の規定審議会における画期的な立法案の採択は、その明確な意思表示です。（中略）..... クラブは、自分たちの理想とする姿を目指しながらも、その中核にロータリーの理念を持ち続ける機会を持つことができるようになりました。このニュースに世界中のロータリアンが心を躍らせています」

記事：Ryan Hyland